

# 村井版 近代演劇史年表

	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
1868 (明1)	<p>1月:明治維新 王制復古の大号令／戊辰戦争起こる</p> <p>4月:五箇条の誓文／神仏分離令(神仏判然令)により廃仏毀釈運動起こる</p> <p>5月:ハワイへ邦人120人余契約移民として渡航</p> <p>6月:出版物・新聞の無許可発行を禁止、書籍の原稿事前検閲を定める／新政府、長崎でキリシタンを弾圧・逮捕／出版物・新聞の無許可発行を禁止</p> <p>7月:上野で彰義隊の戦闘</p> <p>9月:江戸を東京とす</p> <p>10月:会津藩白虎隊、飯盛山で自刃／明治と改元</p> <p>○横浜に理髪店開業／近藤勇刑死(35歳)</p>	<p>2月:人気女形・3世沢村田之助、脱疽のため片足切断後、初の舞台復帰</p> <p>10月:5世尾上菊五郎、市村座で襲名興行</p> <p>11月:興行界不況のため中村・守田座合併興行を行う</p>	<p>○トルストイ「皇帝フョードル」(露)</p>	<p>3月:ナポレオン3世、労働者の団結権を認める</p> <p>5月:フランスで新聞発行の自由を認める</p> <p>7月:露領ポーランドでポーランド語の公用使用禁止さる</p> <p>○ドストエフスキー「白痴」／トルストイ「戦争と平和」(露)</p>
1869 (明2)	<p>1月:築地に外人居留地設置</p> <p>6月:五稜郭開城、榎本武揚以下降伏し、戊辰戦争終わる</p> <p>7月:版籍奉還、公卿・諸侯を華族とする</p> <p>8月:九段に招魂社創建、戊辰戦争戦死者を祀る(79年6月、靖国神社と改称)</p> <p>○土方歳三没(35歳)／和泉要助、人力車を創案・完成</p>	<p>3月:2世沢村訥升(4世助高屋高助)、5世尾上菊五郎、7世河原崎権之助(9世市川團十郎)、それぞれ守田・市村・中村座で初座頭となる(新旧交代の現われ)</p> <p>9月:英皇太子アルフレッド親王、赤坂の和歌山藩藩邸で観能</p> <p>11月:太政官の中に雅楽局を設置</p>	<p>○カリフォルニア劇場建設(米)</p> <p>○ウィーン国立劇場完成(オ)</p>	<p>5月:アメリカで最初の大陸横断鉄道完成</p> <p>8月:ドイツ社会民主労働党創立</p> <p>11月:スエズ運河開通</p> <p>○ベルヌ「海底2万里」(仏)</p>
1870 (明3)	<p>1月:東京・横浜間電信開通</p> <p>5月:人胆・脳髓・陰莖の密売を禁止</p> <p>11月:政府、ドイツ・イギリス・アメリカへ留学生派遣</p> <p>○東京・大阪でトンビ(二重回し)が流行</p>	<p>2月:2世河竹新七「丸橋忠弥」初演(初世市川左団次の出世芸となる)</p> <p>6月:12世喜多六平太没</p>	<p>○ドリーブ「コッペリア」(仏)</p>	<p>7月:普仏戦争始まる</p> <p>9月:フランス共和国を宣言／イタリア統一完了</p>
1871 (明4)	<p>5月:兵部省、軍楽隊を設置</p> <p>8月:廃藩置県の詔</p> <p>9月:文部省設置／散髪・廃刀の自由を認める</p> <p>10月:華族・士族・平民相互の結婚を許可</p> <p>11月:岩倉具視欧米使節団出発(～73年帰国)</p> <p>12月:津田梅子、中江兆民アメリカへ出発(中江は、米經由フランスへ。74年帰国)</p> <p>○この年、新聞発行相次ぐ</p>	<p>2月:9世市川團十郎、守田座へ初出演(勘弥との提携始まる)</p> <p>9月:2世河竹新七「真田雪村」初演(守田座、9世市川團十郎)</p>	<p>○ヴェルディ、エジプト政府の依頼で「アイダ」を作曲、カイロで上演(伊)</p> <p>○オストロフスキー「森林」(露)</p>	<p>3月:パリ・コミューン成立宣言</p> <p>5月:パリ・コミューン消滅(死者5万人)、武装解除</p> <p>○シュリーマンのトロイ発掘始まる</p>
1872 (明5)	<p>3月:福沢諭吉「学問のすすめ」第1編(以後、5年間にわたり17編刊行)</p> <p>／中村正直訳、J. S. ミルの「自由之理」刊行</p> <p>6月:国民教化の基本大綱(教部省)</p> <p>10月:新橋・横浜間に鉄道開通</p> <p>12月:太陽暦採用／徴兵の詔書</p> <p>○東京で氷屋繁盛</p>	<p>1月:金剛流、維新後初の演能</p> <p>3月:梅若実、10日間の勤進能興行</p> <p>4月:東京第1大区役所、守田勘弥・河竹新七・桜田治助を呼び出し、演劇は勧善懲悪を旨とするとともに、実録どおりにせよと説諭／音楽歌舞の類、すべて教部省の管轄となる</p> <p>7月:教部省、3座座元を呼び出し、今後脚本を差し出し、許可を得たのち興行すべき旨を申し渡す</p> <p>10月:東京府令により、府下劇場に興行免許の鑑札交付、同時に3座以外の小芝居を公認、新設劇場も許可(翌年より、続々新築開場)</p> <p>11月:守田座で、ロシア親王「国姓爺」を観劇／守田座、新富町へ移転、開場式。観客席の一部に椅子席を設けるなど機構・制度に改革を行う／京都の南・北側両座で、西洋種の狂言上演(スマイスの「西国立志編」の一部を脚色・翻案上演したもの)</p>		<p>○ニーチェ「悲劇の誕生」(独)</p> <p>／エンゲルス「自然弁証法」(独)</p>

1873 (明6)	2月:ウィーン万博へ諸工芸家出発 5月:ウィーン万博開催で日本の美術工芸品好評を博す 9月:岩倉具視帰国 7月:地租改正条例を布告 10月:西郷隆盛、参議を辞職(征韓論問題) 11月:内務省設置 ○開成学校の米人教師ウィルソン初めて野球を紹介	5月:華族・旧楽人に限られていた神楽・舞楽の伝習が一般庶民にも許される 7月:2世河竹新七「髪結新三」(中村座)初演 11月:2世河竹新七「東京日日新聞」を守田座で初演(新聞ものを脚色した散切狂言の最初)	○ゾラ、戯曲「テレーズ・ラカン」序文で自然主義宣言(仏) ○ジャコーズ「将棋一番」(伊)	○ランボー「地獄の季節」/J. S. ミル「自叙伝」
1874 (明7)	1月:岩倉具視、征韓派に襲われる/民選議院設立建白書を提出(板垣・後藤・江藤・副島ら8人) 2月:佐賀の乱(江藤新平)/台湾征討を決定 4月:江藤処刑 5月:陸軍中將・西郷従道兵3600名を率いて台湾上陸 6月:第1回三田演説会(演説会の初め)/西郷隆盛、鹿児島に私学校設立 11月:台湾征討軍の撤退勅令出る ○石油ラン急速に普及/弘前の東奥義塾教師エング、りんごの苗をアメリカから初めて移植	1月:中村座で、番付に初めて開場・閉場時間を明記 7月:河原崎権之助、河原崎座を創設、9世市川団十郎を襲名 8月:演劇雑誌の先駆けとなる「劇場の脚色」大阪で刊行(1878年8月「劇場珍報」と改題) 10月:2世河竹新七「河内山」初演(河原崎座)	○この年から1890年まで、ゲオルグ2世のマイニンゲン一座、ヨーロッパ各地を巡演。アンサンブル重視のリアリスティックな演技と演出で各国の演劇に大きな影響を与える(独) ○ムソルグスキー「ボリス・ゴドノフ」(露)	4月:パリで第1回印象派展 7月:清国、台湾へ5000人増兵を指令 ○ロシアにインテリゲンチヤーによる「ヴ・ナロード」(人民の中へ)運動始まる
1875 (明8)	4月:福沢諭吉「文明論之概略」 6月:讒謗律、新聞紙条例(言論取締り強化) ○横浜でコーヒー発売/朝倉松五郎、洋式メガネを複製	1月:東京府、諸芸人に賦金(営業税・地方税の一種)を課する/守田座、負債のため株式組織にし、新富座と改称 5月:梅若実、先祖988年の追善能を催し、成功を収める	○パリ・オペラ座開場(仏) ○ビゼー「カルメン」初演(仏)	○トルストイ「アンナ・カレーニナ」発表開始(77年刊行)
1876 (明9)	3月:廃刀令 5月:上野動物園開園 7月:三井銀行開業 8月:高橋お伝事件 10月:神風連の乱、秋月の乱、萩の乱相次ぐ ○東京で、藤八拳・玉突き流行	4月:明治天皇・皇后、岩倉具視邸で観能 11月:中橋座、新富座類焼 ○この頃より散切狂言、活歴劇盛んになる(明20年代まで)	○ワグナー「ニーベルンゲンの指輪」全4部初演。パイロイト祝祭劇場開場(独)	○ベル、電話を発明/エジソン、蓄音機を発明/ロシアで、ナロードニキの地下革命組織結成/インドで大飢饉/ロダン「青銅時代」/ツルゲーネフ「処女地」
1877 (明10)	1月:西南の役 4月:東京大学開設 6月:国会開設を建白 8月:コレラ、上海より長崎、横浜に伝播(死亡8027人) 9月:西郷隆盛自刃(59歳) ○コレラ流行のため、東京・神田に下水道建設/横浜に貸し自転車屋開業	4月:2世河竹新七「女書生」初演(新富座) 8月:桜田治助没(76歳) 12月:2世勝詮造「西南夢物語」(西南戦争の最初の劇化)を大阪戎座で初演	○イブセン「社会の柱」(ノ) ○チャイコフスキー「白鳥の湖」(露)	1月:英領インド帝国成立 4月:ロシア、トルコへ宣戦布告 10月:ナロードニキ裁判。160人に重労働刑(露) ○ゾラ「居酒屋」(仏)/エジソン、蓄音器を発明(米)
1878 (明11)	5月:紀尾井坂で、大久保利通暗殺(48歳) ○全国的人力車11万3921台、荷車11万5680台/毒婦小説流行	2月:東京警視本署、興行取締規則布達(興行場の清潔、観客の賭博行為の取り締まりなど) 3月:2世河竹新七「西南戦争」を新富座で初演(団十郎が西郷役で80日余大入り、戦争場面で西洋花火を使用) 4月:内務大書記官・松田道之邸で、伊藤博文・依田学海ら、守田勘弥・市川団十郎・尾上菊五郎らに演劇改良の必要説く 6月:新富座、新装開場式(内外の照明にガス灯を使用、政府高官を招待し、劇場関係者は洋装で参列、軍楽隊演奏) 7月:沢村田之助没(34歳) 8月:新富座で、歌舞伎初めての夜芝居を興行		1月:アメリカの秘密労働組合(労働騎士団)、全国組織として正式成立(組合員3万人。86年に70万となる) 4月:ブラハで、チェコ社会民主党結成 5月:パリ万国博覧会(～11月)に日本も参加 10月:ドイツ帝国議会、社会主義者鎮圧法案を可決 ○ファール「昆虫記」(～1910年)

		10月：2世河竹新七「斎藤実盛」を新富座で初演(団十郎の新演出＝活歴と名づける) ○観劇団体六二連「俳優評判記」刊行		
1879 (明12)	3月：松山にコレラ発生、全国に蔓延 4月：琉球藩を沖縄県とする／植木枝盛「民権自由論」 ○北海道でチーズの製造開始	3月：2世河竹新七、リットン作「マナー」を翻案した「人間万事金世中」(新富座)初演。東京における初翻案劇上演となる 7月：前アメリカ大統領グラント、新富座で観劇、引き幕を贈る 9月：2世河竹新七、新富座で「漂流奇譚西洋劇」を初演。10人の外人俳優を使うも不入りで2万円の負債。新富座の衰運の引き金となる 10月：人形浄瑠璃「壺坂霊験記」初演	○シェークスピア劇場開場(英) ○イブセン「人形の家」(近代戯曲の始まり)	○ドストエフスキー「カラマーゾフの兄弟」(露)／ペーベル「婦人論」(独)
1880 (明13)	4月：集会条例制定 11月：林広守「君が代」作曲 ○日本で粉ミルク発売／岩谷松平、口付き紙巻タバコを発売(天狗煙草)	6月：河竹黙阿弥作「星月夜見聞実記」新富座で上演 11月：演劇雑誌「諸芸新聞」創刊	○パリ・オペラ座、白熱電灯を照明に使用 ○コンスタン・コ克蘭「芸術と俳優」(仏) ○ゾラ「演劇における自然主義」(仏)	○アラスカで金鉱発見(米)／ゾラ「ナナ」(仏)
1881 (明14)	10月：自由党結成 ○服部金太郎、東京・京橋に時計店を開業(後の服部都計店)	4月：岩倉具視らの発起により「能楽社」設立(以後、能楽の呼称が普及)／芝公園に「能楽堂」できる(一般能楽堂の初めとなる) 12月：2世河竹新七「島衛月白浪」初演(これ以降、黙阿弥を名乗る) ○このころ、シェークスピア作・外山正一訳「西洋浄瑠璃ハムレット 霊験皇子の仇討」の稿なる	○マイニンゲン一座、ロンドン公演(独) ○ゾラ「自然主義演劇論」出版(仏) ○オッフエンバック「ホフマン物語」初演 ○イブセン「幽霊」(ノル) ○チェコ国民劇場開場	○アレクサンドル2世暗殺(63歳)
1882 (明15)	1月：伊藤博文、憲法調査に渡欧／軍人勅諭 3月：立憲改進黨結成／参議・伊東博文、勅許により憲法調査のため渡欧(83年8月帰国) 4月：板垣退助、岐阜で暴漢に襲われる 10月：東京専門学校(現・早稲田大学)設立／中江兆民「民約訳解」刊 ○東京にピストル強盗出現／政治小説隆盛	2月：劇場取締り規則施行(東京の劇場を10座に制限、臨官席の設置、定員、興行時間を制限する) 6月：新富座経営難から猿若座と改称	○アドルフ・ラ・ロンジュ、ドイツ座を創設し近代写真劇を上演(独) ○M・ブルクハルト、ブルク座の座長となる(自然主義演劇の時代始まる)(オ) ○イブセン「民衆の敵」(ノ) ○ベック「鴉の群れ」(仏)	1月：ロシア、農奴解放を促進 9月：英軍、カイロを占領
1883 (明16)	4月：新聞紙条例改正 7月：鹿鳴館完成 8月：伊藤博文帰国 ○断髪師・鳥海定吉、バリカンを初めて使用	1月：市川団十郎、活歴劇推進のため求古会を結成 6月：黙阿弥「魚屋宗五郎」、市村座で初演	○デイドロ「俳優についての逆説」英訳版出版 ○メトロポリタン歌劇場開場(米)	1月：ロシア、農奴解放令実施 ○ニーチェ「ツアラツストラはかく語りき」(~85年、独)／モーパッサン「女の一生」(仏)
1884 (明17)	6月：鹿鳴館で西洋舞踏会 8月：森鷗外、ドイツ留学に出発 10月：自由党解散 ○慶応義塾・青山学院・明治学院に野球チーム誕生	5月：坪内逍遙訳「該撒奇談 自由太刀余波鋭鋒」(ジュリアス・シーザー) 9月：文楽座、大阪御霊神社境内に移転、新築開場	○マッケイ・ベラスコの演劇運動起こる(米) ○コ克蘭兄弟「独白術」(仏) ○イブセン「野鴨」(ノ)	3月：フランスで労働組合法化される ○エンゲルス「家族・私有財産および国家の起源」
1885 (明18)	6月：坪内逍遙「小説神髓」 12月：第1次伊藤内閣成立 ○清国・安南・シンガポールなどに日本人婦人の淫売者増加／「ひやひや節」流行	5月：シェークスピア作・3世勝謔蔵脚色「ヴェニス商人」、大阪・戎座で初演(シェークスピア劇の初め)	○マイニンゲン公一座、モスクワ公演(独) ○ドーデ「サフオー」(仏) ○ユゴー没(83歳)	
1886 (明19)	3月：小学校令・帝国大学令公布 ○「ダイナマイト節」「抜刀隊の歌」流行	8月：末松謙澄ら「演劇改良会」を設立 12月：3世中村仲蔵死去(78歳)	○オストロフスキー没(63歳)	11月：フランスのリヨンで第1回フランス全国労働組合大会開催
1887 (明20)	6月：二葉亭四迷「浮雲」 10月：東京音楽学校・美術学校開設 12月：保安条例公布(中江兆民、星亨、尾崎行雄ら570人が東京を追放) ○東京に電灯初めて点灯／金線サイダー発売	4月：初めての天覧歌舞伎、井上馨外相私邸で行われる 5月：菊五郎、新古演劇十種の内と銘打ち「土蜘蛛」を千歳座で上演	○アントワーン、パリに自由劇場創設(近代劇運動の始まり) ○ストリンドベリ「父」(スウェ) ○トルストイ「闇の力」(露)	3月：アレクサンドル3世暗殺計画が発覚、レーニンの兄を含む200人の学生逮捕 ○ザメンホフ(ポ)、エスペラントを考案、発表
1888 (明21)	4月：枢密院設置 7月：二葉亭四迷、ツルゲーネフの「あひぶき」翻訳	1月：市村座新築落成 5月：黙阿弥、中村座で「花井お梅」初演	○レッシング座開場(独) ○ストリンドベリ「令嬢ジュリー」(スウェ)	6月：ウィルヘルム2世即位(独)

	○資生堂、福原衛生歯磨石鹸を製造発売	9月：守田勘弥、歌舞伎座創立に備え新富・市村・中村・千歳の4座同盟を作る 12月：角藤定憲、大阪の新町座で大日本壮士改良演劇として「耐忍之書生貞操佳人」を上演（壮士芝居始まる） ○この年秋、川上音二郎、浮世亭○○と名乗り「オッペケペー節」を演じる（91年ころ、全国に大流行）	○ジャリ「ユビュ王」（仏） ○スタニスラフスキー、モスクワに芸術・文学協会設立（露） ○チャーホフ「熊」（露） ○イブセン「海の夫人」（ノ）	
1889 (明22)	2月：大日本帝国憲法公布 ○幻燈流行／大阪・神戸で自転車流行	7月：日本演芸協会設立（土方久元、坪内逍遙、岡倉天心など） 11月：歌舞伎座落成 12月：川上音二郎、京都で「オッペケペ」出版	○オッター・ブラーム、ベルリンに自由舞台創立（独） ○ハウプトマン「日の出前」（独） ○チャーホフ「イワーノフ」（露）	5月：パリ万国博覧会開催（フランス革命100年記念）／エッフェル塔完成
1890 (明23)	10月：教育勅語 11月：第1回帝国議会（国会開設） ○「法界節」「やっつけろ節」流行	1月：佐藤黄鶴邸で硯友社の文士による文士劇上演（文士劇の始まり） 8月：劇場取締規則改正（大劇場10座、小劇場12座を許可）	○自由民衆舞台生まれる（独） ○ポール・フォール、ジェルマンと芸術劇場を創設（仏） ○イブセン「ヘッダ・ガブラー」（ノ） ○チャーホフ、サハリンへ旅行（露） ○クローデル「黄金の頭」（仏） ○メーテルリンク「闖入者」「群盲」（ベ）	○フレーザー「金枝篇」
1891 (明24)	3月：駿河台にニコライ堂完成 5月：大津事件（ロシア皇太子ニコライ親王、巡査に切りつけられる）／北村透谷「蓬莱曲」 10月：濃尾大地震 11月：幸田露伴「五重塔」 ○佐伯理一郎、京都に最初の産院を開業	6月：川上音二郎、「板垣君遭難実記」で中村座に進出（43日間売れ切れ） 11月：伊井蓉峰ら男女合同改良演劇「済美館」を結成、吾妻座で「政党美談淑女之操」を上演 12月：春木座新築落成	○トーマス・グライン、ロンドンに独立劇場創立（英） ○ヴェデキント「春のめざめ」（独） ○ハウプトマン「寂しき人々」（独）	5月：シベリア鉄道建設着工 ○エンゲルス「空想より科学へ」
1892 (明25)	8月：第2次伊藤内閣成立 ○「敵は幾万」「ありがた節」流行	1月：三遊亭円朝原作・3世河竹新七脚色「塩原多助一代記」歌舞伎座で初演 5月：川上音二郎「ダンナハイケナイワタシハテキズ」を市村座で初演 12月：大阪角座で、大谷馬十ら男女混合演劇上演	○リュネ・ポー、制作座創立（仏） ○バーナード・ショー「男やもめの家」（英） ○メーテルリンク「ベレアスとメリザンド」（ベ） ○イブセン「建築師ソルネス」（ノ） ○メーテルリンク「死に面して」（ベ） ○ワイルド「サロメ」（英）	
1893 (明26)	1月：北村透谷ら「文学界」創刊 5月：北村透谷「内部生命論」 6月：福島安正中佐、単騎でシベリアを横断して帰国 ○ドロップス輸入される／農民騒擾165件	1月：川上音二郎、鳥越座の初日を前に、突如、パリの演劇視察に出発／河竹黙阿弥没（78歳）／真砂座開場／浅草の鳥越座（旧中村座）焼失 3月：高安月郊訳「社会の敵」（イブセン戯曲の最初の訳） 6月：福井茂兵衛、吾妻座で旗揚げ 11月：明治座開場式（初世市川左団次の経営）	○バーナード・ショー「ウォーレン夫人の職業」（英） ○ズーダーマン「故郷」（独） ○ハウプトマン「ハンネレの昇天」（独） ○チャイコフスキー没（54歳）	○エジソン、活動写真を発明
1894 (明27)	5月：北村透谷自殺（27歳） 8月：日清戦争勃発（～95年4月） 11月：坪内逍遙「桐一葉」 12月：樋口一葉「大つもごり」 ○「剣舞節」大流行	9月：川上一座、浅草座で「壮絶快絶日清戦争」上演、大入りとなる（戦争劇流行） 11月：坪内逍遙「桐一葉」 12月：川上一座、市村座で「戦地見聞日記」初演	○ポウエル、エリザベス朝舞台協会設立 ○ルナール「にんじん」（仏） ○オスカー・ワイルド「サロメ」（英） ○バーナード・ショー「武器と人」（英） ○メーテルリンク「タンタジールの死」（ベル）	3月：朝鮮で東学党蜂起 10月：ドレフェス事件（仏） 11月：ニコライ2世即位（露） ○レーニン「人民の友とは何か」（露）
1895 (明28)	1月：樋口一葉「たけくらべ」 4月：日清講和条約（下関条約）／三国干渉（露・独・仏） 9月：樋口一葉「にこりえ」 12月：樋口一葉「十三夜」 ○コレラ大流行（死者4万150人）／軍歌「雪の進軍」「勇敢なる水兵」流行	5月：川上一座、歌舞伎座に進出「威海衛陥落」を上演 12月：川上一座、浅草座で、泉鏡花原作・花房柳外脚色「滝の白糸」初演	○アツピア「ワグナー劇の演出について」（スイス） ○ワグナー「劇曲の演出について」（独） ○バーナード・ショー「運命の人」（英） ○シュニッツラー「恋愛三昧」（オ） ○デュマ・フィス没（71歳） ○ヴェデキント「地霊」（独）	○孫文、日本に亡命（中）／レントゲン、X線を発見（独）／ヴァレリー「レオナルド・ダ・ヴィンチ」（仏）／シェンクェヴィチ「クオ・ヴァデスイス」（ポ）

1896 (明29)	6月：白馬会発会式 10月：二葉亭四迷訳「片恋」 ○「いばりゃんす節」「有明節」流行	7月：川上座開場（神田三崎町） 9月：高田実・小織桂一郎ら成美団を結成し、大阪角座を本拠に上演活動を行う	○ラウンテンシュレーガー、回り舞台使用（独） ○チェーホフ「かもめ」初演（アレクサンドリンスキー劇場で初演、不評。ただし、同劇場での再演では好評） ○ハウプトマン「沈鐘」（独） ○ジャリ「ユビュ王」（仏） ○ブッチーニ「ラ・ボエーム」（伊） ○リボー「感情の心理学」（仏）	4月：第1回オリンピック大会開催（アテネ） ○マルコーニ、無線通信法を発明（伊） ○ベックレム、放射能を発見（仏）
1897 (明30)	1月：俳句雑誌「ホトトギス」創刊／尾崎紅葉「金色夜叉」連載開始 3月：足尾鉾毒被害者上京、陳情 8月：島崎藤村「若菜集」 ○尾崎紅葉「金色夜叉」／このころより、労働争議急増（約100件）、農民騒擾110件	3月：東京座開場 8月：12世守田勘弥没（52歳） 9月：坪内逍遙の「吞手鳥孤城落月」（1905年、大阪角座で初演） 10月：伊井蓉峰らモリエールの「守銭奴」の翻案劇（尾崎紅葉「金色慾」）を真砂座で上演	○アントワーヌ劇場開場（仏） ○エドモンド・ロスタン「シラノ・ド・ベルジュラック」（仏） ○スタニスラフスキーとダンチェンコ、モスクワのレストランで会見、18時間話し合う（露） ○イブセン「ジョン・ガブリエル・ボルクマン」（ノ）	6月：アメリカ、ハワイ併合（米）
1898 (明31)	1月：第3次伊藤内閣成立 7月：岡倉天心ら、日本美術院を創立 ○横山源之助「日本之下層社会」刊／徳富蘆花「不如帰」／正岡子規「歌よみに与ふる書」	3月：川上一座、尾崎紅葉の「金色夜叉」を劇化、川上座で初演（新聞小説の舞台化始まる） 4月：川上一座、川上座で広津柳浪作・花房柳外脚色「畜生腹」初演 9月：伊井蓉峰一座、デュマ作・竹柴瓢三翻案「待則寒露」（「モンテクリスト伯」）を歌舞伎座で初演	○モスクワ芸術座創立、「かもめ」を上演、大成功を収める（露） ○ロンドン舞台協会創立（英） ○バーナード・ショー「シーザーとクレオパトラ」（英） ○この頃より3大女優活躍（エレン・テリー、サラ・ベルナル、エレオノラ・ドゥーゼ）	
1899 (明32)	1月：勝海舟死去（77歳）／雑誌「中央公論」創刊／アイヌ人保護法公布 7月：改正条約の実施（治外法権撤廃） ○「さのさ節」流行／「不如帰」の成功で、家庭小説隆盛	4月：川上音二郎ら一行19名アメリカへ出発／9世市川團十郎、歌舞伎座で「勸進帳」を上演 5月：川上一座、サンフランシスコで公演 10月：初世市川左団次、松居松葉の「悪源太」を上演（局外作家作品の初演）	○イエーツ、アイルランド文芸座創立 ○ロンドン舞台連合協会生まれる（英） ○モスクワ芸術座で「ワーニャ伯父さん」初演（露） ○イエーツ「キャサリン」（英） ○シュニッツラー「緑の鸚鵡」（オ） ○ストリンドベリ「罪また罪」（スウェーデン）	3月：義和団蜂起（中） 10月：阿片戦争（英） ○トルストイ「復活」（露）
1900 (明33)	3月：雑誌「明星」（与謝野鉄幹）刊行（～1908年）／治安警察法公布 9月：夏目漱石、イギリス留学に出発（03年帰国） ○「東雲節」「鉄道唱歌」流行	6月：川上一座、ウエールズ親王の御前で公演／川上一座、パリ万博で公演 11月：劇場取締規則改正（脚本検閲の強化、興行時間の延長、小劇場にも引き幕・回り舞台を許可）	○シュニッツラー「輪舞」（独） ○ブリュー「法服」（仏） ○ロスタン「子鷲」（仏） ○ブッチーニ「トスカ」（オ） ○フランスでレビュー流行	4月：パリ万国博覧会（～11月） ○フロイト「夢の解釈」／パリ万博に公衆電話登場（仏）／パブロフ、条件反射の研究（露）
1901 (明34)	2月：福沢諭吉死去（66歳） 5月：社会民主党結成（安部磯雄・片山潜・幸徳秋水・木下尚江ら） 8月：与謝野晶子「みだれ髪」 9月：中江兆民「一年有半」 12月：田中正造、足尾鉾毒事件で直訴 ○東海道線急行に食堂車登場／こうもり傘流行／「美しき天然」「ストライキ節」流行	1月：川上一座帰国（4月、再渡航） 2月：川上一座、市村座で「洋行中の悲劇」を上演、革新興行を行う（幕間の短縮、花道の使用禁止、フットライトの使用など）／「川上音二郎欧米漫遊記」出版 4月：「川上音二郎貞奴漫遊記」出版 5月：太田ひさ（花子）、コペンハーゲン博覧会のアトラクション・メンバーとして渡航 7月：伊井蓉峰一座、明治座で坪内逍遙訳「ジュリアス・シーザー」を畠山古瓶の脚色で「該撒奇談」と題して初演 10月：松居松葉（松翁）作「源三位頼政」を明治座で初演	○モスクワ芸術座でチェーホフ「3人姉妹」初演（露） ○ゴーリキー「小市民」（露） ○ストリンドベリ「死の舞踏」（スウェーデン） ○マイアー・フェルスタ「アルト・ハイデルベルク」（独）	○第1回ノーベル賞授賞式
1902	1月：日英同盟締結	1月：白井松次郎・大谷竹次郎経営の京都明治座開場	○ラインハルト、反写実主義演劇の演出を	1月：シベリア鉄道開通

(明35)	3月：島村抱月、イギリス留学に出発(05年帰国) ○東北地方凶作／「魔風恋風の歌」「ふるさと」流行	(この年、松竹合名社創立) 4月：花房柳外、イブセンの「人民の敵」を翻案上演(イブセン劇移入の先駆) 5月：福井茂兵衛一座、京都の夷谷座でモリエールの翻案劇「修紫」(タルチェフ)を上演 8月：川上一座帰国 9月：福井茂兵衛一座、京都南座でシェークスピアの翻案劇「闇と光」(リア王)を上演	試みる ○メイエルホリド、モスクワ芸術座を脱退し「ロシア俳優劇場」を結成 ○バリー「あっぱれクライトン」(英) ○ビュヒナー「ダントンの死」(独) ○メーテルリンク「モンナ・ヴァンナ」(ペ) ○ストリンドベリ「夢の劇」(スウ) ○ゴリーキー「どん底」(露)	○メリエス監督映画「月世界旅行」
1903 (明36)	4月：小学校国定教科書令公布 5月：藤村操、華厳の滝に投身(18歳) 9月：永井荷風、欧米留学に出発 11月：幸徳秋水ら、平民社を設立 ○早慶戦始まる／トラホーム流行(以後、年々増加)	2月：5世尾上菊五郎死去(60歳)／川上一座、貞奴の出演で「オセロ」を明治座で翻案上演(正劇運動、近代女優の誕生) 6月：川上一座、明治座で「ゼ・マーチャント・オブ・ヴェニス」(ベニスの商人)を翻案上演 7月：歌劇研究会、グルックの「オルフェウス」を上演(日本語による初めての歌劇上演) 9月：9世市川団十郎没(66歳) 10月：川上座、お伽芝居「狐の裁判」「うかれ胡弓」を本郷座で上演(児童劇の先駆となる) 11月：川上一座、正劇「ハムレット」を本郷座で初演(切符制度を採用)	○アイルランド国民演劇協会設立(シングなどの劇作家を輩出) ○バーナード・ショー「人と超人」(英) ○シング「谷の陰」(ア) ○ホフマンスタール「エレクトラ」(オ) ○ロマン・ロラン「民衆演劇論」(仏) ○ハーゲマン「俳優術と俳優」(独)	12月：ライト兄弟、飛行に成功
1904 (明37)	2月：日露戦争始まる(～05) 9月：与謝野晶子「君死にたまふこと勿れ」 12月：三越本店開業 ○「日本陸軍」の歌が流行／「平民新聞」の発行部数延べ20万部	1月：明治座、興行改革を断行(切符制度、席指定、舞台稽古を行うなど) 3月：伊原敏郎「日本演劇史」／坪内逍遙の「桐一葉」東京座で初演 4月：森鷗外の「日蓮上人辻説法」歌舞伎座で初演 8月：初世市川左団次死去(63歳)。団菊左時代終焉 11月：坪内逍遙「新楽劇論」	○ダブリンにアベイ座開設、イエーツ支配人となる ○シング「海へ騎りゆく人々」(ア) ○ヴェデキント「パンドラの箱」(独) ○ブッチーニ「蝶々夫人」(オ) ○モスクワ芸術座、チャーホフ「桜の園」初演(露) ○チャーホフ没(44歳)	
1905 (明38)	1月：夏目漱石「吾輩は猫である」 5月：日本海海戦 9月：日露講和条約(ポーツマス条約)／島村抱月帰国 10月：夏目漱石「吾輩は猫である」 ○「戦友」「ラッパ節」流行／東北地方大凶作	3月：2世市川左団次、シラーの「瑞西義民伝」(ウイルヘルム・テル)を初演 新派「不如帰」「金色夜叉」「己が罪」などを上演 ○花子、ロンドンのサボイ劇場に出演、ロイ・フラールと出会う	○ラインハルト、ドイツ座の演出家に就任、回り舞台を使用(独) ○バーナード・ショー「人と超人」(英) ○シング「聖者の泉」(ア) ○ゴードン・クレーグ「劇場芸術」(英) ○ヴェデキント「死と悪魔」(独)	1月：ロシア、血の日曜日(サンクト) 9月：ポーツマス条約 ○アインシュタイン「特殊相対性理論」を発表
1906 (明39)	2月：高村光太郎、欧米留学に出発 3月：島崎藤村「破戒」 4月：夏目漱石「坊ちゃん」「草枕」 10月：二葉亭四迷「其面影」 11月：南満洲鉄道株式会社設立 ○伊藤左千夫「野菊の墓」／たばこ「ゴールデンバット」発売	2月：坪内逍遙、島村抱月ら文芸協会を創立(前期)／川上一座、メーテルリンクの「モンナ・ヴァンナ」を明治座で初演 9月：福井茂兵衛一座、大阪朝座で泉鏡花の「湯島詣」初演 10月：帝国劇場発起人総会開催(委員長・渋沢栄一)／川上一座、サルドウの「祖国」を明治座で上演 11月：文芸協会演芸部、歌舞伎座で坪内訳、シェークスピアの「ヴェニスの商人」を上演 12月：2代目市川左団次、ヨーロッパの演劇視察に出発(07年8月帰国) ○花子、マルセイユ博覧会に出演、ロダンに出会う	○ゴリーキー「敵」(露) ○クローデル「真昼に分かつ」(仏) ○イブセン没(78歳)	2月：英国労働党成立 ○マルセイユ植民地博覧会
1907 (明40)	2月：足尾銅山ストライキ 6月：夏目漱石「虞美人草」 10月：伊藤左千夫ら「アララギ」創刊 ○田山花袋「蒲団」(自然主義思潮興る)／夏目漱石「虞美人草」／国産自動車完成／この年、恐慌起こり、	5月：沢村宗之助ら洋楽研究会をおこし東京座で「ジュリアス・シーザー」を原語上演 7月：川上・貞奴、演劇学校・劇場視察のため渡航(4度目) 8月：2世市川左団次帰国	○ストリンドベリ、「親和劇場」設立(ベル) ○ストリンドベリ「稲妻」 ○シング「西の国の人気者」(ア) ○ゴリーキー「母」(露) ○フックス、エルラー、ミュンヘン芸術劇	3月：日本人労働者締め出しの大統領令公布(米) ○ベルグソン「創造的進化」

	株式暴落／「軍歌節」「女学生の歌」流行	11月：文芸協会演芸部、本郷座で坪内訳「ハムレット」を初演 ○花子、第1回アメリカ公演 泉鏡花「婦系図」	場設立（独） ○ゴードン・クレーグ「俳優と超人形」発表（英） ○李息霜ら日本留学生、藤沢浅二郎の指導を受け、春柳社を結成「椿姫」を上演。和劇運動の始まりとなる（中）	
1908 （明41）	4月：島崎藤村「春」 5月：島村抱月「自然主義の価値」 6月：国木田独步死去（38歳） 10月：岩野泡鳴「新自然主義」 ○池田菊苗、味の素を発明／「あわからない」「不如帰の歌」流行	1月：2世市川左団次、明治座で革新興行「袈裟と盛遠」、坪内訳「ヴェニスの商人」を上演（明治座の興行制度改革を断行、挫折） 9月：川上貞奴、帝国女優養成所創設 11月：藤沢浅二郎、東京俳優養成所を設立（10年に東京俳優学校と改称） 12月：有楽座開場（全館椅子席、出方廃止、食堂・休憩室を設置） ○花子、欧州一円を巡演	○アニー・ホーニマン、マンチェスターにレパトリー劇場設立（英） ○ゴードン・クレーグ「マスク」創刊（英） ○メーテルリンク「青い鳥」（ベル） ○アルバレス・キンテーロ兄弟「カイン家の娘たち」（スベ） ○グレゴリー夫人「養老院の一生」（ア） ○フックス、ミュンヘンに芸術家劇場を設立（独）	12月：ロンドン軍縮会議 ○ロダン「死の首」完成（花子がモデル） ○ヴォリンガー「抽象と感情移入」 ／ジャリ没（35歳）
1909 （明42）	1月：森鷗外ら「スバル」創刊 3月：北原白秋「邪宗門」／永井荷風「ふらんす物語」発禁 5月：二葉亭四迷没（48歳） 10月：伊藤博文、ハルビン駅で韓国人・安重根に暗殺さる（68歳） ○森永チョコレート発売／ピリケン（米国製福の神）流行／「ハイカラ節」「金色夜叉の歌」流行	2月：2代目左団次・小山内薫「自由劇場」創立 4月：松竹合名会社、大阪文楽座を買収（以後10年7月までに、東京新富座、本郷座を次々に買収） 5月：文芸協会に付属演劇研究所開設（後期文芸協会始まる） 9月：2代目左団次、岡鬼太郎の脚色で「毛抜」を約100年ぶりに復活上演 11月：自由劇場第1回公演としてイプセンの「ジョン・ガブリエル・ボルクマン」を森鷗外訳で有楽座で上演 12月：山田耕柞作曲の歌劇「誓の星」を芝ユニテリアン教会で上演 ○花子、オーストリア、ドイツ、東欧公演	○ニューヨーク・ナショナル劇場開場（米） ○ディアギレフ、ロシア・バレエ団創立、パリで初公演（露） ○モルナール「リリオム」（ハ） ○メーテルリンク「青い鳥」（スタニスラフスキー演出で初演） ○フックス「劇場の革命」（独） ○朝鮮に円覚社劇場（新劇運動始まる）	○ジイド「狭き門」／マリネッティ「未来派宣言」発表
1910 （明43）	4月：武者小路実篤ら「白樺」創刊 7月：森鷗外「花子」 8月：日韓併合条約調印 9月：朝鮮総督府設置（総督・寺内正毅） 11月：白瀬中尉、南極探検に出発／帝国在郷軍人会発足 ○石川啄木「時代閉塞の現状」／森鷗外「花子」を「三田文学」に発表／魔法瓶初めて輸入	2月：川上音二郎、大阪に「帝国座」を開設 5月：自由劇場第2回公演、ヴェデキント作・森鷗外訳「出発半時間前」、チャーホフ作・小山内薫訳「犬」（結婚申し込み）を有楽座で上演／2世市川左団次、60年ぶりに歌舞伎18番「鳴神」を復活上演 11月：井上正夫ら、新時代劇協会を結成、有楽座でバーナード・ショー作・森鷗外訳「馬泥棒」を上演 12月：自由劇場第3回公演、ゴーリキー作・小山内薫訳「夜の宿」（どん底）を有楽座で上演 ○花子、ドイツ・ロシア、イタリアで公演	○ドラマ・リーグ発足（米） ○メイエルホリド、オストロススキーの「森林」で花道を使用 ○バリー「12ポンドの眠つき」（英） ○リボー「情緒の心理学の諸問題」（仏） ○ジャック・ルーシュ「現代演劇芸術」（仏） ○モルナール「近衛兵」（ハ） ○ホフマンスタール「痴人と死」（独） ○ストラヴィンスキー「火の鳥」（露） ○ラインハルト「オイディプス」演出（独）	○ストラヴィンスキー「火の鳥」初演 ／リルケ「マルテの手記」／フロイト「精神分析」
1911 （明44）	1月：大逆事件で、幸徳秋水（41歳）ら死刑 5月：特別高等警察（特高）設置 9月：平塚らいてうら「青鞥」発刊（～1916） ○西田幾多郎「善の研究」／レコードの蓄音器普及し、レコードの発売盛んになる／「デカンショ節」流行	3月：「帝国劇場」開場 5月：文芸協会、帝劇で坪内訳「ハムレット」全幕上演 5月：2世市川左団次、明治座で岡本綺堂作「修禅寺物語」初演 6月：東京俳優学校、第1回卒業生公演で佐藤紅緑作「廃馬」ほかを有楽座で上演 9月：帝国劇場、歌劇部新設／文芸協会研究所、第1回試演会でイプセン作・島村抱月訳の「人形の家」を上演（主演・松井須磨子） 10月：2世市川左団次、岡本綺堂作「箕輪の心中」を明治座で初演 11月：志水正太郎設計の歌舞伎座開場（21年焼失）	○陸鏡若ら新劇同志会結成（中） ○モスクワ芸術座で、ゴードン・クレーグとスタニスラフスキー共同演出の「ハムレット」初演 ○トルストイ「生ける屍」（露） ○ホフマンスタール「人のすべて」（独） ○シュテルンハイム「ホーゼ」（独） ○アイルランドのアベイ劇場一座アメリカを巡演し、アメリカの小劇場運動に刺激を与える ○イエーツ、アベイ座でクレイグの衝立舞台使用（ア）	10月：辛亥革命 12月：アムンゼン、南極探検

		<p>／東京劇場組合、所属俳優の映画出演を禁止／川上音二郎没（48歳） ○花子、2度目のロシア公演</p>		
1912 (明45)	<p>3月：呉海軍工廠でストライキ 7月：明治天皇死去（61歳） 9月：乃木大将殉死（64歳） 10月：大杉栄ら「近代思想」発刊 ○自動車登録台数521台／「乃木大将の歌」流行</p>	<p>4月：自由劇場、第6回公演で、萱野二十一（郡虎彦）の「道成寺」を帝劇で初演 5月：文芸協会第3回公演で、ズーデルマン作・島村抱月訳「故郷」（マグダ）を有楽座で初演 9月：2世市川左団次、明治座を伊井蓉峰に譲渡し、松竹専属となる 10月：青山杉作・村田実らのとりで社、第1回公演でメーテルリンクの「室の中」と長田幹彦の「舞姫ダアヤ」を築地精養軒ホールで上演／伊庭孝・上山草人ら近代劇協会を結成、第1回公演でイブセン作・千葉掬香訳「ヘッダ・ガアブレル」を有楽座で上演／帝劇、イタリアのオペラ・バレエの演出家ローシーを歌劇部指導のため招聘 11月：文芸協会、第4回公演でバーナード・ショー作・松居松葉訳の「廿世紀」を有楽座で上演 12月：小山内薫、モスクワ経由でヨーロッパの演劇視察に出発</p>	<p>○カイザー「朝から夜中まで」（独） ○クローデル「マリアへのお告げ」（仏） ○ゾルゲ「乞食」（独） ○パールラッハ「死の日」（独） ○W・アーチャー「作劇法」（英） ○中国で春柳社劇場結成 ○ルナチャスキー演劇大学創立（露） ○オストロフスキー演劇大学創立（露） ○王国維「宋元戯曲史」（中） ○ストリンドベリ没（63歳）</p>	<p>2月：清朝滅亡 4月：タイタニック号沈没（英） 5月：ボルシェビキの機関紙「ブラウダ」創刊（露） 10月：第1次バルカン戦争勃発</p>
1913 (大2)	<p>○中里介山「大菩薩峠」／森鷗外「阿部一族」／「赤いサラファン」流行／この年、ストライキ47件</p>	<p>1月：花子、イサドラ・ダンカンの紹介でスタニスラフスキー会い、スタジオでロシアの演劇人に即興を見せる／小山内薫、モスクワ芸術座で「どん底」を観劇、スタニスラフスキーに会う 2月：文芸協会、松居松葉訳「思ひ出」（「アルト・ハイデルベルヒ」）を有楽座で上演 6月：帝劇歌劇部、ローシーの指導でサルドウ作「トスカ」を上演（川上貞奴、7世松本幸四郎らの出演） 7月：小林一三、少女歌劇養成所設立／文芸協会解散。これにともない、島村抱月・松井須磨子ら「芸術座」創立／土肥春曙・東儀鉄笛ら「無名会」／佐々木積ら「舞台協会」をそれぞれ結成／女優者、市川九女八（守住月華）没（68歳） 8月：東京歌舞伎座、松竹合名会社の経営となる 9月：芸術座、第1回公演でメーテルリンク作・島村抱月訳「モンナ・ヴァンナ」ほかを有楽座で初演 12月：芸術座、帝劇でオスカー・ワイルドの「サロメ」島村抱月訳で上演 ○山田耕作、ドイツ留学の帰途、モスクワでスタニスラフスキーとゴードン・クレーグ共同演出の「ハムレット」を見る</p>	<p>○ジャック・コポー「ヴェー・コロンビエ座」創設（仏） ○シャンゼリゼ座開場（仏） ○バーミンガム劇団結成（米） ○バーナード・ショー「ピグマリオン」（英） ○ゴードン・クレーグ「新しい演劇に向けて」（英）</p>	<p>○ブルースト「失われた時を求めて」第1巻</p>
1914 (大3)	<p>1月：桜島大噴火 7月：第1次世界大戦勃発（～18） 8月：第1次世界大戦に参戦 ○三越百貨店にエスカレーター設置／「カチューシャの唄」流行／この年、ストライキ50件</p>	<p>1月：無名会、帝劇でシェークスピアの「オセロー」を上演 2月：6世尾上菊五郎の狂言座、帝劇で坪内逍遙の「新曲浦島」を上演 3月：黒猫座（のち文芸座）、シュニッツラーの「恋愛三昧」を有楽座で上演／芸術座、帝劇でトルストイの「復活」を島村抱月の脚色で初演（劇中歌「カチューシャの唄」が大ヒット、2万枚の売り上げ） 4月：宝塚少女歌劇団創設／美術劇場、秋田雨雀の「埋れた春」を有楽座で初演</p>	<p>○タイロフ、カーメルヌイ劇場創立（露） ○シチューキン演劇学校創立（露） ○タイロフ、カーメルヌイ劇場を創設（露） ○カイザー「朝から夜中まで」（独）</p>	<p>7月：第1次世界大戦（～18） 8月：パナマ運河開通</p>



		10月：芸術座、中村吉蔵の「剃刀」を帝劇で初演 ○花子、ヨーロッパ各地で慰問公演		
1915 (大4)	4月：対華21か条交渉開始 11月：芥川龍之介「羅生門」 ○パーマメント流行／「ゴンドラの歌」流行／この年、ストライキ64件	3月：伊井蓉峰・喜多村緑郎ら、本郷座で泉鏡花の「日本橋」を初演 4月：芸術座、帝劇でツルゲーネフ作・楠山正雄脚色の「その前夜」を初演（劇中歌「ゴンドラの唄」大ヒット） 7月：近代劇協会、帝劇でチェーホフ作・伊東六郎訳「桜の園」を小山内薫の演出で初演 9月：帝劇洋劇部（歌劇部を改称）、ズッペの喜歌劇「ボッカチオ」を上演（劇中歌「恋はやさし野辺の花よ」がヒット） ○花子、ロンドンで慈善公演	○メイスフィールド「忠臣蔵」英訳完成（英） ○デニシオン舞踊学校創立（米） ○民衆舞台開場（独） ○アンドレーエフ「殴られる彼奴」（露）	○モーム「人間の絆」／グリフィスの映画「国民の創生」（米）
1916 (大5)	9月：工場法実施（1947年の労働基準法まで継続） ○河上肇「貧乏物語」／芥川龍之介「鼻」 ／吉野作造、「中央公論」に「憲政の本義を説いて其の有終の美を済すの途を論ず」を発表／「サンタルチア」流行／この年、ストライキ108件	2月：2世市川左団次、岡本綺堂作「番町皿屋敷」本郷座で初演 6月：石井漢、帝劇で「日記の一頁」などを上演 7月：芸術座、芸術倶楽部でトルストイ作・林久男訳「闇の力」を上演 10月：ローシー夫妻、赤坂ローヤル館で喜歌劇「天国と地獄」を上演 11月：桃中軒雲右衛門没（44歳）	○ピュリッツァ賞創設（米） ○イエーツ「鷹の井戸」（ア） ○アポリネール「ティレシアスの乳房」（仏）	○カフカ「変身」／レーニン「帝国主義論」／アインシュタイン「一般相対性理論」
1917 (大6)	3月：室蘭製鉄所ストライキ／理化学研究所設立／理化学研究所設立 6月：三菱長崎造船所ストライキ 12月：岩波書店「夏目漱石全集」刊行 ○志賀直哉「城の崎にて」／永井荷風「断腸亭日乗」 ／有島武郎「惜しみなく愛は奪ふ」／萩原朔太郎「月に吠える」 ／「さすらひの歌」「安木節」「七里ヶ浜」流行／この年、ストライキ398件	2月：青山杉作ら踏路社を結成 3月：藤沢浅二郎没（52歳） 4月：沢田正二郎・倉橋仙太郎ら、新国劇を結成 6月：大杉栄、ロマン・ロランの「民衆芸術論」翻訳 10月：佐々紅華・石井漢ら東京歌劇座結成、新築開場した浅草の日本館で「カフェーの夜」など上演（劇中歌「コロッケの唄」流行） ○浅草オペラ時代始まる	○ゲーリング「海戦」（独） ○カイザー「カレーの市民」（独） ○ピランデルロ「御意にまかす」（伊） ○アポリネール「ティレシアスの乳房」（仏） ○メイエルホリド、アレクサンドリンスキー劇場でレールモントフの「仮面舞踏会」演出（露）	4月：アメリカ対独宣戦布告 ○ロシア革命（2月革命・10月革命）
1918 (大7)	1月：パイロット万年筆発売 7月：「赤い鳥」創刊 8月：シベリア出兵を宣言／米価暴騰で富山県に米騒動勃発 9月：原敬内閣成立（本格的な政党内閣） ○春から翌年にかけて世界的大流行のスペイン風邪で、日本でも15万人死去／「コロッケの唄」「宵待草」「浜辺の歌」流行／この年、ストライキ417件、小作争議256件	2月：清水金太郎夫妻、東京歌劇座に入団「天国と地獄」上演／ローヤル館オペラ解散 3月：原信子歌劇団結成（田谷力三、秋月正夫らも参加） 5月：宝塚少女歌劇、帝劇で東京初公演 7月：芸術座、松竹と提携（9月にハウプトマンの「沈鐘」ほかを歌舞伎座で上演） 9月：伊庭孝・高木徳子ら歌舞劇協会、有楽座で伊庭孝作・竹内平吉作曲「沈鐘」、「カルメン」を上演 11月：島村抱月、スペイン風邪で死去（48歳） ／土方久元（土方与志の祖父）、スペイン風邪で死去（86歳）	○メイエルホリド、マヤコフスキーの「ミステリア・ブッフ」演出（露） ○カイザー「ガス」（独） ○アポリネール没（38歳）	11月：ドイツ降伏（第1次世界大戦終わる） ○魯迅「狂人日記」／ニューヨークーシカゴ、ロンドンーパリ間の航空郵便開始
1919 (大8)	2月：普通選挙要求の運動起こる 3月：朝鮮の独立運動高まる 5月：中国で排日運動盛んとなる／和辻哲郎「古寺巡礼」 6月：島田清次郎「地上」 11月：日本労働党結成 ○北一輝「日本改造法案大綱」／有島武郎「或る女」 ／藤田嗣治、パリのサロン・ドートンヌに入選、会員となる（13年に渡仏） ／「デモクラシー節」「パイノバイ節」流行／この年、ストライキ497件、小作	1月：松井須磨子、後追い自殺（34歳）、芸術座解散 3月：トウ・ダンスの高木徳子没（29歳） 4月：新国劇、行友李風作「月形半平太」を京都明治座で初演、大当たり 6月：畑中夢坡・長田秀雄らの新劇協会、第1回公演でチェーホフの「叔父ワーニヤ」を有楽座で初演 8月：岸田國士、パリに留学に向け出発（～32年帰国） 9月：ロシア歌劇団、帝劇で「アイーダ」「椿姫」を	○ブリティッシュ・ドラマリーグ創立（英） ○シアター・ギルド発足（米） ○ソ連で、演劇事業の統合に関する布告出る（露） ○ラインハルト、ゲーリングの「海戦」を演出（独）	1月：パリ平和会議 3月：3・1独立運動（朝） 5月：5・4運動（中） 6月：ベルサイユ条約 10月：第1回国際労働会議（日本からも出席）

	争議326件	上演／自由劇場、ウージェーヌ・ブリュエの「信仰」を上演し解散 10月：初世中村鴈治郎、菊池寛作「藤十郎の恋」を大阪浪花座で初演 11月：新国劇、名古屋末広座で行友季風「国定忠治」を初演		
1920 (大9)	1月：国際連盟に加盟 2月：八幡製鉄所ストライキ 3月：戦後大恐慌起こる 5月：尼港（ニコラエフスク）事件／第1回メーデー上野公園で開催／労働組合同盟会結成 6月：高畑素之訳「資本論」刊行開始 12月：大杉栄ら日本社会主義者同盟結成、即日解散／南洋委任統治宣言発表 ○松竹キネマ、帝国キネマ設立／「ゴンドラの唄」流行／この年、ストライキ282件、小作争議408件	3月：東儀鉄笛・加藤精一らの新文芸協会、第1回公演で坪内逍遙の「法難」ほかを明治座で初演 5月：神戸の川崎造船所工員ら日本労働劇団を結成（プロレタリア演劇の先駆）／劇作家協会設立 7月：2世市川左団次、中村吉蔵作「伊井大老の死」を歌舞伎座で初演 ○大正戯曲時代始まる	○国立民衆劇場開場（仏） ○メイエルホリド「演劇の10月」を掲げる ○パリ「メリア・ローズ」（英） ○ルノルマン「落伍者の群れ」（仏） ○ゴードン・クレーグ「前進する演劇」（英） ○オニール「皇帝ジョーンズ」（米） ○上海に崑曲伝習所開設（中） ○スウェーデン・バレエ団結成 ○ラインハルト、ザルツブルグ演劇祭を創設（独）	1月：国際連盟設立（日本も加盟） 8月：アメリカで婦人参政権承認 ○上海で、コミンテルン極東社会主義大会（大杉栄出席）／第1次大戦の戦後恐慌
1921 (大10)	2月：金子洋文らプロレタリア文学「種蒔く人」創刊 4月：足尾銅山ストライキ 7月：三菱、川崎造船所大ストライキ、軍隊出動／小説家協会設立 11月：原敬首相東京駅頭で刺殺（66歳）／フランスの詩人クローデル、駐日大使として着任 ○志賀直哉「暗夜行路」／倉田百三「愛と認識との出発」／「船頭小唄」流行 ／この年、ストライキ246件、小作争議1680件	2月：平沢計七らの労働劇団、第1回公演「血の党与」を南葛飾で上演 3月：7世松本幸四郎、山本有三作「嬰兒殺し」を有楽座で初演 5月：藤蔭静枝（静樹）、新舞踊「思凡」を有楽座で上演 9月：6世尾上菊五郎、山本有三作「坂崎出羽守」を市村座で初演 10月：岸田国士、コポーと会い、ヴィユ・コロンビエ座付属の演劇学校で聴講 12月：新国劇、中里介山作・行友季風脚色「大菩薩峠」（第1編）を明治座で初演 ○花子、年末に帰国（岐阜に隠居）／このころから、浅草オペラ全盛となる ○村山知義渡独	○ピランデルロ「作者を探す6人の登場人物」（伊） ○モーム「サークル」（英） ○タイロフ「演出家の覚え書」（露） ○ハシェク「善良な兵士シュヴェイク」（チェコ） ○汪仲賢ら中国で、民衆劇社結成 ○デュラン、アトリエ座を創設（仏） ○マゾー「休みの日」（仏） ○ピランデルロ「作者を探す6人の登場人物」（伊） ○クロムランク「堂々たるコキュ」（ベ） ○アドルフ・アッピア「生命ある芸術作品」（ス） ○演劇雑誌「戯劇」創刊（中）	3月：ナチス党結成 7月：中国共産党結成 11月：ワシントン会議 ○魯迅「阿Q正伝」
1922 (大11)	1月：大隈重信死去（85歳） 1月：芥川龍之介「藪の中」 2月：山県有朋死去（85歳）／ワシントン海軍軍縮条約 3月：水平社宣言（全国水平社結成） 4月：日本農民組合結成 7月：日本共産党、非合法に結成 ○有島武郎「宣言ひとつ」／「週刊朝日」「サンデー毎日」創刊／全国で銀行の取り付け騒ぎ起こる／「ピエロの唄」「馬賊の唄」流行／この年、ストライキ270件、小作争議1917件	7月：森鷗外没（61歳） 9月：ロシアのパブロフ舞踊団来日、帝劇で「瀕死の白鳥」などを上演 10月：2代目左団次、京都・知恩院で観衆10万人を集め、野外劇「織田信長」（作・松居松葉、演出・小山内薫）を上演 11月：土方与志、ドイツ留学に出発／岩田豊雄（獅子文六）、パリへ遊学 12月：石井漠、欧米巡業に出発	○モスクワ芸術座、ヨーロッパ公演 ○ブレヒト「夜打つ太鼓」（独） ○トラー「機械破壊者」（独） ○ピランデルロ「エンリコ4世」（伊） ○オニール「毛猿」（米） ○バーナード・ショー「メトセラへ帰れ」（英） ○人生戯劇専門学校創立（中）	10月：イタリアでムッソリーニのファシスト政権成立 12月：ソビエト社会主義共和国連邦成立宣言 ○シュペングラー「西欧の没落」（独） ／ジョイス「ユリシーズ」（英） ／エリオット「荒地」（英） ／マルタン・デュ・ガール「チボー一家の人々」（仏）
1923 (大12)	1月：菊池寛、「文芸春秋」創刊 2月：丸ビル竣工 3月：普選案否決 4月：「赤旗」創刊 6月：第1次共産党大檢舉 6月：有島武郎、波多野秋子と心中 7月：金子光晴「こがね虫」／村山知義・柳瀬正夢ら	3月：6世尾上菊五郎、小山内薫作「息子」を帝劇で初演 4月：石井漠、ベルリン公演「プレリュード（苦難）」で絶賛を得る 10月：新国劇、日比谷音楽堂で大地震被災民慰問の野外劇を上演 12月：土方与志、帰国の途次、モスクワのメイエル	○ブレヒト「パール」「都会のジャングル」（独） ○カイザー「平行」（独） ○トラー「ヘンケマン」（独） ○メイエルホリド、マルチネの「大地は逆立つ」を演出（露） ○バーナード・ショー「聖女ジョーン」（英）	6月：ドイツでマルク暴落 11月：ミュンヘン暴動 ○ルカーチ「歴史と階級意識」（ハンガリー） ／リルケ「ドゥイノの悲歌」（独）

	<p>「マヴォ」を結成 9月：関東大震災／亀戸事件（平沢計七ら10名虐殺／大杉栄虐殺（45歳） ○震災恐慌起こる／ブリヂストンの地下足袋発売／「復興節」流行／この年、ストライキ270件、小作争議1917件</p>	<p>ホリド劇場で「大地は逆立つ」の舞台を見て衝撃を受ける</p>	<p>○J・ロマン「クノック」（仏） ○モスクワ芸術座、アメリカ公演（～24年） ○田漢、南国劇社創立（中）</p>	
1924 (大13)	<p>4月：排日移民法アメリカ議会通過 ○新感覚派台頭（川端康成、横光利一、岸田国士、中河与一、稲垣足穂など） ／「スットン節」流行／この年、ストライキ295件、小作争議1532件</p>	<p>1月：「演劇新潮」創刊 2月：「音楽新潮」創刊 6月：土方・小山内「築地小劇場」創立、第1回公演でゲーリング作「海戦」ほかを上演 9月：同志座第1回公演で、真山青果作「玄朴と長英」を邦楽座で初演 10月：新劇協会、岸田国士作「テロルの秋」を帝国ホテル演芸場で初演</p>	<p>○コポー、ヴィユ・コロンビエ座を閉鎖（仏） ○ガンチョン「娼婦マヤ」（仏） ○ガーシュイン「ラプソディー・イン・ブルー」初演（米） ○オニール「楡の木陰の欲望」（米） ○ピランデルロ「各人各説」（伊） ○スタニスラフスキー「芸術におけるわが生涯」をアメリカで出版</p>	<p>○ブルトン「シュールレアリスム第一宣言」（仏）</p>
1925 (大14)	<p>1月：日ソ国交回復 2月：共同印刷争議 3月：ラジオ放送始まる 4月：治安維持法公布 5月：普通選挙法公布（25歳以上の男性のみに選挙権） 7月：東京放送局、ラジオ放送開始 ○セーラー服流行／ラジオ普及／この年、ストライキ270件、小作相互2206件</p>	<p>4月：新橋演舞場開場、新橋芸妓による第1回「東おどり」上演 9月：村山知義・河原崎長十郎ら「心座」を結成、第1回公演でカイザー作「ユアナ」ほかを築地小劇場で上演 12月：トランク劇場結成 ○この年、築地小劇場、ピランデルロ、オニール、シング、ロマン・ロランらの作品を精力的に上演</p>	<p>○カワード「花粉熱」（英） ○ロマン・ロラン「愛と死の戯れ」（仏） ○クローデル「縊子の靴」（仏） ○G・マルセル「神の人」（仏） ○アルトー「冥府の臍」（仏） ○ルノルマン「卑怯者」（仏） ○ロマシヨフ「空気饅頭」（露） ○北京芸術学院創立（33年閉校）</p>	<p>1月：トロツキー失脚 ○カフカ「審判」／チャプリン監督「黄金狂時代」／ヒトラー「わが闘争」／孫文没（59歳）</p>
1926 (大15)	<p>3月：労働農民党結成 5月：十勝岳噴火（死者144人） 12月：大正天皇死去（48歳） ○保険金目当ての放火激増／「ヨサホイ節」「国境警備の歌」流行／モガの断髪流行／この年、ストライキ469件、小作争議2751件</p>	<p>1月：文芸家協会設立（劇作家協会と小説作家協会の合同による）／新国劇、エドモンド・ロスタン作・額田六福翻案「白野弁十郎」を邦楽座で初演 2月：トランク劇場、共同印刷争議応援で長谷川如是閑作「エチル・ガソリン」、武者小路実篤作「或る日の一休」を上演 3月：石井漢舞踊団、中国・朝鮮巡業（朝鮮で、崔承喜を見出す） 5月：青い鳥劇団、岸田国士作「紙風船」を初演 6月：井上正夫ら、藤森成吉作「磯茂左衛門」を浅草松竹座で初演 12月：千田是也らの前衛座第1回公演でルナチャルスキー作「解放されたドンキホーテ」を築地小劇場で上演／5沢村田之助、岸田国士作「驟雨」を、帝劇で初演</p>	<p>○スタニスラフスキー、ロシア語版「芸術におけるわが生涯」を出版（露） ○トレチャコフ「吼えろ支那」（露） ○ブルガーコフ「トゥルビン家の日々」（露） ○コクトー「オルフェ」（仏） ○アルトー、ジャリ劇場設立（仏） ○ペルク、歌劇「ヴォツェック」初演（オ） ○オニール「偉大な神ブラウン」（米）</p>	<p>5月：英国で炭鉱ゼネスト 7月：蔣介石、北伐開始 ○ショーロホフ「静かなドン」（露） ○エイゼンシュタイン監督「戦艦ポチョムキン」（露） 米、NBC創立、ネットワーク放送開始</p>
1927 (昭2)	<p>3月：金融恐慌始まる 7月：芥川龍之介自殺（36歳）／岩波文庫発刊 12月：上野・浅草間に地下鉄開通 ○高村光太郎「ロダン」出版／「出船の港」流行／この年、ストライキ346件、小作争議2052件</p>	<p>1月：築地小劇場、帝劇に進出しカイザー「平行」ほかを上演 2月：井上正夫ら、真山青果作「平将門」を本郷座で初演 4月：新国劇、真山青果作「桃中軒雲右衛門」を市村座で初演 6月：日本プロレタリア芸術連盟分裂／第1書房「近代劇全集」刊行／前衛座分裂 9月：宝塚少女歌劇、岸田辰弥作レビュー「モン・パリ」初演 11月：労農芸術家連盟分裂／小山内薫、ロシア革命10周年に招かれ訪ソ、メイエルホリドと会う ○千田是也、ドイツに出発</p>	<p>○ピスカートル、トラーの「どっこい、おいらは生きている」を演出（独） ○ミュージカル「ショーボート」（アメリカン・ミュージカルの確立） ○ヘイワード「ボーギー」（米） ○ロルカ「マリヤナ・ピネーダ」（スペ） ○イワーノフ「装甲列車」（露） ○イサドラ・ダンカン没（米）</p>	<p>○リンドバーク、大西洋無着陸横断飛行に成功（米） ／ハイデッカー「存在と時間」（独） ／ハイゼンベルク「不確定性原理」を発表（独）</p>

1928 (昭3)	2月：普通選挙実施／「赤旗」創刊 7月：アムステルダム・オリンピックで、織田幹雄・鶴田義行が金メダル、人見絹代が銀メダルを獲得 10月：日本共産党書記長・渡辺政之輔、台湾で警官に追い詰められ自殺 11月：ラジオ体操放送開始／警視庁、18歳未満の男女のダンスホール入場を禁止 ○「波浮の港」「モン・パリ」流行／この年、ストライキ332件、小作争議1866件	3月：プロレタリア演劇研究所開設／春陽堂「日本戯曲全集」刊行／全日本無産者芸術連盟（ナツプ）結成 7月：2代目左団次、訪ソ公演（初の本格歌舞伎海外公演）。帰国時にスタニスラフスキーと会談 9月：左翼劇場、三好十郎の「首を切るのは誰だ」を報知講堂で初演 10月：演劇雑誌「悲劇喜劇」創刊 12月：小山内薫没（48歳）	○ブレヒト「3文オペラ」初演（独） ○オニール「奇妙な幕間狂言」（米） ○コクトー「エデップ王」（仏） ○ジロドゥ「ジークフリード」（仏） ○ロマン・ロラン「愛と死の戯れ」（仏） ○田漢ら中国で、南国社結成（中） ○キルシオン「風の街」（露） ○グループ・シアター、マーティンベック劇場で試演会 ○エレン・テリー没（81歳）	
1929 (昭4)	日本プロレタリア作家同盟設立 3月：小林多喜二「蟹工船」／大学卒業者の就職難深刻化、東大卒で約30% 4月：島崎藤村「夜明け前」 6月：徳永直「太陽のない街」 7月：浜口内閣成立 8月：改造社の懸賞文芸評論で、1等が宮本顕治「敗北の文学」、2等が小林秀雄「様々な意匠」 ○「東京行進曲」「君恋し」流行／この年、ストライキ494件、小作争議2434件	3月：沢田正二郎死去（38歳）／築地小劇場で小山内薫追悼公演「夜の宿」上演。千秋楽をもって、築地小劇場分裂。残留組は劇団築地小劇場となる 5月：土方・丸山ら新築地劇団旗揚げ 6月：左翼劇場、築地小劇場で村山知義の「全線」（「暴力団記」）初演 7月：浅草水族館でカジノフォーリー発足（榎本健一ら） 8月：劇団築地小劇場、本郷座でトレチャコフの「吼える支那」初演 9月：新歌舞伎座開場式（34年新宿第一劇場と改称） 10月：日本プロレタリア劇場同盟（プロット）結成 11月：劇団築地小劇場、本郷座でレマルク作・村山知義脚色「西部戦線異状なし」を初演 12月：川尻東次ら、人形クラブ（後に、人形劇団ブーク）を結成／帝劇、松竹の経営となり、全俳優松竹に移る（40年から、東宝の経営に）／小林多喜二の「蟹工船」、「北緯50度以北」と改題され、新築地劇団により帝国劇場で上演／左翼劇場、築地小劇場で「全線」を上演（演出・佐野碩）	○メイエルホリド、マヤコフスキーの「南京虫」演出（露） ○パニョル「マリウス」（仏） ○クローデル「縊りの靴」（仏） ○アシャー「お月さまのジャン」（仏） ○モンパルナス座創立（仏） ○ブレヒト「マハゴニー市の興亡」（独） ○ライカ「街の風景」（米） ○イワーノフ「封鎖」（露）	10月：ウォール街の株暴落、世界経済恐慌起こる「暗黒の木曜日」 ○レマルク「西部戦線異状なし」（独） ／ヘミングウェイ「武器よさらば」（米） ／フレミング、ペニシリンを発見（英）
1930 (昭5)	1月：金解禁 2月：第2回普通選挙 6月：失業者増大 6月：「プロレタリア文学」創刊 9月：米価大暴落 10月：特急つばめ運転開始 11月：浜口首相、東京駅で狙撃さる ○カフェー全盛、エロ・グロ・ナンセンス時代／「祇園小唄」流行／この年、ストライキ763件、小作争議2478件	1月：大阪四ツ橋の近松座を改装し文楽座開場 2月：左翼劇場、村山知義の演出で「太陽のない街」上演 4月：6世尾上菊五郎の日本俳優学校開校（36年解散） 6月：青山杉作・友田恭助らの劇団新東京、東京劇場で「フィガロの結婚」上演 8月：劇団築地小劇場解散／左翼劇場、村山知義の演出で「太陽のない街」上演 12月：市川猿之助「春秋座」結成	○ゴードン・クレーグ「ヘンリー・アーヴィング」演出—1926」（英） ○ユリウス・バーブ「演劇社会学」（独） ○コクトー「声」（仏） ○パスール「買う女」（仏） ○ロルカ「すてきな靴屋のおかみさん」（ス） ○メイエルホリド、パリで筒井徳二郎一座の歌舞伎を見る	1月：ロンドン軍縮会議 3月：ガンジー、不服従運動で投獄 4月：マヤコフスキー自殺（露） ○ムジール「特性のない男」（オーストリア） ／ラスキ「近代国家における自由」（英）
1931 (昭6)	1月：日本農民組合結成 8月：浜口首相没（62歳） 9月：満州事変勃発 10月：日本プロレタリア文化連盟（コップ）結成 ○井上日召「血盟団」結成／「酒は涙か溜息か」流行／この年、ストライキ864件、小作争議3419件	1月：2世市川猿之助ら松竹を脱退して春秋座を再建、トレチャコフの「アジアの嵐」を市村座で上演（5月に解散） 2月：金杉惇郎・長岡輝子らテアトル・コメディを結成（36年解散） 3月：13世守田勘弥ら、長谷川伸作「瞼の母」を明治座で初演／左翼劇場、佐野碩の演出で「西部戦線異状なし」を市村座で上演	○クラーマン、ストラスパークらグループ・シアター結成（米） ○オニール「喪服の似合うエレクトラ」（米） ○ソートン・ワイルダー「長いクリスマスディナー」（米） ○カワード「私生活」（英） ○ブライディ「解剖学者」（英） ○ゴードン・クレーグ「エレン・テリーと	4月：スペイン革命、共和国宣言 ○パブスト監督「三文オペラ」（独） ／シャレル監督「会議は踊る」（独）

		<p>5月：春秋座解散後、河原崎長十郎・中村翫右衛門ら前進座結成／佐野碩、アメリカへ向け出国（8月：N Yで石垣栄太郎・綾子に会う）</p> <p>9月：佐野碩、ベルリンで千田是也とともに国際労働者救援会第8回大会に参加</p> <p>11月：ナップ解散し、日本プロレタリア文化連盟（コップ）結成／千田是也帰国</p> <p>12月：浅草オペラ館開場／新宿にムーランルージュ開場</p>	<p>その秘められた自己」（英）</p> <p>○ジロドゥ「ジュディット」（仏）</p> <p>○マルタン・デュ・ガール「沈黙の人」（仏）</p> <p>○中国左翼戯劇家連盟結成</p>	
1932 (昭7)	<p>1月：上海事変</p> <p>2月：井上準之助暗殺（64歳）／リットン調査団来日</p> <p>3月：満州国建国宣言</p> <p>5月：5・15事件、犬養首相暗殺さる（78歳）</p> <p>○軍需工業好況／野呂栄太郎ら「日本資本主義発達史講座」／ロスアンゼルス・オリンピック水上競技で5種目優勝／山本有三「女の一生」／「影を慕ひて」流行／この年、ストライキ778件、小作争議3414件</p>	<p>2月：友田恭助・田村秋子ら築地座結成、オニールの「楡の木陰の欲望」などを飛行館で上演</p> <p>3月：千田是也ら東京演劇集団（TES）、ブレヒト作「三文オペラ」を新歌舞伎座で初演</p> <p>5月：俳優チャップリン来日</p> <p>8月：東京宝塚劇場創立</p> <p>8月：伊井蓉峰没（62歳）</p> <p>9月：大阪歌舞伎座新築開場</p> <p>11月：東山千栄子・青山杉作らの劇団東京、帝国ホテル演芸場でツックマイヤー作「楽しき葡萄畑」を上演</p>	<p>○シェークスピア記念劇場開場（英）</p> <p>○プリーストリー「危険な曲角」（英）</p> <p>○ブレヒト「屠殺場の聖ヨハンナ」母」（独）</p> <p>○合衆国労働者演劇同盟設立（米）</p> <p>○ハワード・ロースン「成功物語」（米）</p> <p>○アヌイ「貂」（仏）</p>	<p>7月：ナチス、第1党となる</p> <p>○オストロスキー「鋼鉄はいかに鍛えられたか」／トロツキー「ロシア革命史」（露）</p>
1933 (昭8)	<p>2月：小林多喜二、特高の拷問で死去（31歳）</p> <p>3月：日本、国際連盟脱退／共産党非合法化</p> <p>4月：吉野作造没（56歳）</p> <p>5月：京大、滝川事件</p> <p>6月：丹那トンネル開通／佐野学など獄中転向相次ぐ</p> <p>10月：日本国家社会主義全国協議会結成</p> <p>11月：片山潜、ソ連で客死（75歳）</p> <p>○尾崎士郎「人生劇場」／三原山自殺流行／「サーカスの唄」「島の娘」流行</p> <p>／ヨーヨー大流行／この年、ストライキ525件、小作争議4000件</p>	<p>2月：バーナード・ショー来日</p> <p>4月：土方与志一家、モスクワへ向け出発（12月より、土方はモスクワ市立革命劇場演出班に所属、佐野碩はメイエルホリド劇場の役員となる）</p> <p>6月：左翼劇場・新築地劇団、久保栄作「五稜郭血書」を飛行館で初演</p> <p>7月：松居松翁（松葉）没（64歳）</p> <p>8月：東京宝塚劇場開場／築地小劇場改築</p> <p>10月：築地小劇場創立10周年記念改築竣工公演として坪内逍遙訳「ハムレット」を築地小劇場で上演</p> <p>11月：日本劇場（日劇）開場</p>	<p>○ロルカ「血の婚礼」（ス）</p> <p>○ジロドゥ「間奏曲」（仏）</p> <p>○マルセル「こわれた世界」（仏）</p> <p>○ルノルマン「演劇の黄昏」（仏）</p> <p>○オニール「ああ荒野」（米）</p> <p>○コールドウエル「タバコ・ロード」（米）</p> <p>○プリーストリー「エデンの果て」（英）</p> <p>○ロマショフ「戦士たち」（露）</p> <p>○ポゴージン「貴族」（露）</p>	<p>1月：ヒトラー内閣成立</p> <p>3月：ルーズベルト、大統領就任</p> <p>6月：米でニューディール政策開始</p> <p>6月：モスクワで国際演劇オリンピックアード開催（佐野・土方参加）</p> <p>11月：リー・ストラスバーク、モスクワに滞在</p> <p>○アインシュタイン、トーマス・マン、ツヴァイク（34年）らドイツより亡命／マルロー「人間の条件」（仏）</p>
1934 (昭9)	<p>3月：武藤山治暗殺（48歳）</p> <p>6月：文部省に思想局新設</p> <p>12月：ワシントン軍縮条約を破棄</p> <p>○芥川・直木賞設置／湯川秀樹、中間子論発表／東北地方の冷害・大凶作で娘の身売り、行き倒れ、自殺増大／「国境の町」「赤木の子守唄」流行／この年、ストライキ562件、小作争議5828件</p>	<p>5月：雑誌「テアトロ」創刊</p> <p>8月：第1回全ソ作家同盟で土方が報告演説し、小林多喜二の虐殺を非難、爵位を剥奪される</p> <p>新協劇団結成</p> <p>9月：新協劇団結成／創作座結成、真船豊作「颯」を飛行館で初演</p> <p>10月：11世片岡仁左衛門死去（78歳）</p> <p>11月：新協劇団、築地小劇場で「夜明け前」第1部初演／6世尾上梅幸死去（65歳）</p>	<p>○ソ連、社会主義リアリズム路線を打ち出す（露）</p> <p>○メイエルホリド、デュマの「椿姫」を演出（露）</p> <p>○ロルカ「イエルマ」（ス）</p> <p>○曹禺「雷雨」（中）</p> <p>○メキシコ国立劇場設立（メ）</p>	<p>3月：溥儀、満州国皇帝となる</p> <p>8月：ヒトラー、ナチス総統となる</p> <p>9月：ソ連、国際連盟加入</p> <p>○トインビー「歴史の研究」（～61年、英）</p>
1935 (昭10)	<p>1月：美濃部達吉の天皇機関説問題化</p> <p>7月：陸軍内部で皇道派・統制派の対立激化</p> <p>8月：永田軍務局長刺殺さる</p> <p>11月：全日本労働総同盟成立／日本ペンクラブ結成（会長・島崎藤村）</p> <p>12月：大本教検挙</p> <p>○山本有三「真実一路」／平均寿命 男性44.8歳、女性46.5歳／「二人は若い」流行／この年、ストライキ531件、小作争議6824件</p>	<p>2月：坪内逍遙死去（77歳）</p> <p>4月：築地座、小山祐土作「瀬戸内海の子供ら」を飛行館で初演</p> <p>9月：6世尾上菊五郎ら、宇野信夫作「巷談宵宮雨」を歌舞伎座で初演</p> <p>11月：国家の映画統制機関「大日本映画協会」設立</p>	<p>○エリオット「寺院の殺人」（英）</p> <p>○アルトー「チェンチー族」演出（仏）</p> <p>○ジロドゥ「トロイ戦争は起らないだろう」（仏）</p> <p>○オデッツ「醒めて歌え」（米）</p> <p>○ミュージカル「ポーギーとベス」（ガーシュイン）</p> <p>○ヴォルフ「マムロック教授」（独）</p> <p>○アメリカン・バレエ結成</p>	<p>3月：ドイツ、再軍備宣言</p> <p>○ヤスバース「理性と実存」（独）／チャベック「山椒魚戦争」（チェコ）</p>
1936 (昭11)	<p>2月：2・26事件で斎藤実（79歳）・高橋是清（83歳）暗殺</p>	<p>1月：シャリアピン独唱会（日々谷公会堂）／井上正夫、明治座で亀屋原徳作「海鳴り」を上演（井上、新</p>	<p>○コポー、コメディ・フランセーズの演出家となる（仏）</p>	<p>7月：スペインで内乱始まる</p> <p>8月：ベルリン・オリンピック大会（前</p>

	<p>11月：日独防共協定調印 ○永井荷風「濃東綺譚」、堀辰雄「風たちぬ」、北条民雄「いのちの初夜」、吉川英治「宮本武蔵」／「ああそれなのに」「東京ラブソディ」流行／この年、ストライキ498件、小作争議5769件</p>	<p>派と新劇の間をゆく「中間演劇」と称される) 2月：築地座解散 4月：第1回回菊祭開催（歌舞伎座） 8月：佐野碩、土方一家国内退去を命じられロシアを出獄、パリに向かう 10月：新派、川口松太郎作「風流深川唄」を東京劇場で初演</p>	<p>○アヌイ「荷物のない旅行者」（仏） ○メイエルホリドへの批判高まる（露） ○ロルカ「ベルナルド・アルバの家」（ス） ○田漢「洪水」（中） ○ゴロッキー没（68歳） ○スタニスラフスキーの「俳優修行」アメリカで出版</p>	<p>畑秀子金メダル ○ゴロッキー軟禁（ソ）／ジイド「ソビエト紀行」（仏）／ケインズ「雇用・利子および貨幣の一般理論」（英）／オパーリン「生命の起源」</p>
1937 (昭12)	<p>2月：文化勲章制定 3月：文部省「国体の本義」配布 4月：第1回文化勲章授与式 6月：第1次近衛内閣成立 7月：盧溝橋事件／日華事変始まる 10月：国民精神総動員中央連盟結成 11月：日独伊防共協定調印／大本営設置 10月：中原中也没（31歳）／国民精神総動員中央連盟結成 12月：日本軍、南京占領、大虐殺／山川均、大森義太郎ら労農派など400人余を逮捕 ○横光利一「旅愁」、石坂洋次郎「若い人」／「人生劇場」「露営の歌」流行／この年、ストライキ530件、小作争議6170件</p>	<p>2月：松竹（株）発足 3月：築地小劇場、久板栄二郎作「北東の風」を築地小劇場で初演 7月：国際劇場開場、松竹少女歌劇「国際東京踊り」上演 8月：満州映画協会設立 9月：文学座結成（岸田國土、岩田豊雄、久保田万太郎） 10月：新築地劇団、長塚節作「土」を築地小劇場で初演／新派、村松梢風原作・巖谷真一脚色「残菊物語」を明治座で初演</p>	<p>○ブリーストリー「時とコンウェイ家」（英） ○オデッツ「ゴールデン・ボーイ」（米） ○スタインベック「二十日鼠と人間」（米） ○モーリヤック「アスモデ」（仏） ○アヌイ「泥棒たちの舞踏会」（仏） ○コクトー「円卓の騎士たち」（仏） ○モーリヤック「アスモデ」（仏） ○ソ連共産党、エイゼンシュティンを批判</p>	<p>4月：ドイツ空軍、スペインのゲルニカを猛爆（死傷者2000余人） ○パリ万博に、ピカソ「ゲルニカ」を出品／ルノワール監督「大いなる幻影」（仏）</p>
1938 (昭13)	<p>4月：国家総動員法公布／電力管理法（電力の国家管理）／落語家・漫才師の戦線慰問団「わらわし隊」第1陣出発 8月：ヒトラー・ユーゲント来日 10月：日本軍、武漢3鎮を占領 ○竹製スプーン・鮫皮靴・木製バケツなど代用品発売／「別れのブルース」「支那の夜」「麦と兵隊」「日の丸行進曲」流行／この年、ストライキ224件、小作争議4615件</p>	<p>1月：岡田嘉子・杉本良吉、樺太からロシアへ越境、亡命するも、逮捕・拷問を受ける 1月：新派、川口松太郎作「鶴八鶴次郎」を明治座で初演 3月：文学座、第1回公演に森本薫作「みごとな女」ほかを飛行館で上演 4月：石井漢、自由が丘に石井漢舞踊学校を開設 6月：新協劇団、久保栄作「火山灰地」第1部を築地小劇場で上演／エノケン一座、日劇に初出演 8月：佐野碩、ニューヨークで石垣栄太郎・綾子夫妻と再会 10月：花柳正太郎・柳永二郎・伊志井寛・大矢市次郎ら、明治座で川口一朗作「鳥」ほかを上演 12月：新劇協同公演で、文学座「秋水嶺」「釣堀にて」、新築地劇団「ハムレット」、新協劇団「千万人と雖も我行かん」を有楽座で上演</p>	<p>○ソートン・ワイルダー「わが町」（米） ○アルトー「演劇とその形而上学」（仏） ○コクトー「恐るべき親たち」（仏） ○マルセル「湯き」（仏） ○ブレヒト「第3帝国の恐怖と貧困」（独） ○スタニスラフスキー自宅幽閉のまま死去（73歳）</p>	<p>1月：メイエルホリド劇場閉鎖（露） 3月：スタニスラフスキー、メイエルホリドをモスクワ芸術座に迎える（露） 3月：ドイツ、オーストリアを併合（独） ○サルトル「嘔吐」（仏）</p>
1939 (昭14)	<p>1月：近衛内閣総辞職 4月：陸軍美術協会結成／国策ペン部隊、満州へ出発 5月：ノモンハン事件 12月：朝鮮総督府、朝鮮人氏名に関する件公布（創氏改名）／門松全廃／グルー米大使、日米新通商航海条約の締結を拒否 ○「父よあなたは強かった」「太平洋行進曲」「上海の花売娘」流行／この年、ストライキ290件、小作争議3578件</p>	<p>3月：岡本綺堂没（68歳） 4月：佐野碩、メキシコに入国／藤原歌劇団、「カルメン」を歌舞伎座で上演 9月：泉鏡花没（67歳）／ロシア・オペラ・バレエ団の公演禁止（外国劇団の公演不可能となる） 10月：杉本良吉、スパイ容疑で銃殺 11月：花柳正太郎・柳永二郎・伊志井寛・大矢市次郎ら、劇団新生新派結成 12月：イトウ・リサイタル（伊藤道郎）、軍人会館でイエーツ作「鷹の井戸」などを上演</p>	<p>○ジロドゥ「オンディヌ」（仏） ○ロマン・ロラン「ロベスピエール」（仏） ○クローデル「火刑台上のジャンヌ・ダルク」（仏） ○サロヤン「君が人生の時」「わが心高原に」（米） ○オニール「氷屋来る」（米） ○グループ・シアター解散（米） ○エリオット「一族再会」（英）</p>	<p>9月：ドイツ、ポーランドを侵略し第2次世界大戦始まる ○スタインベック「怒りの葡萄」（米）</p>
1940 (昭15)	<p>1月：静岡市に大火、5100戸焼失 3月：入場税法公布 4月：陸軍志願兵令公布 7月：第2次近衛内閣成立／大本営政府連絡会議、武</p>	<p>1月：井上正夫一座、北條秀司作「閣下」明治座で初演 2月：2世市川左団次没（61歳）／新協劇団、日本文化中央連盟主催皇紀2600年奉祝芸能祭に参加、</p>	<p>○T・ウィリアムズ「天使たちの戦い」（米） ○コクトー「聖なる怪物」（仏） ○ムンク「独裁者」（デ） ○メイエルホリド、銃殺さる（48歳）</p>	<p>4月：ドイツ、ノルウエーを急襲 4月：ドイツ、デンマークを無血占領 6月：イタリア、英仏に宣戦布告 6月：ドイツ軍、パリに無血入城</p>

	<p>力行使を含む南進政策を決定／労働組合、次々に解散        8月：大日本農民組合解散        9月：日独伊三国同盟、ベルリンで調印        10月：大政翼賛会発足（岸田国土、大政翼賛会文化部長に就任）／東京のダンスホール閉鎖        ○「荒鷲の歌」「蘇州夜曲」流行／この年、ストライキ239件、小作争議3165件</p>	<p>長田秀雄作「大仏開眼」を築地小劇場で初演        3月：新築地劇団、三好十郎作「浮標」を築地小劇場で初演        5月：新協劇団、真船豊作「遁走譜」を築地小劇場で初演        6月：大日本舞踊連盟新舞踊部公演として、帝劇で藤蔭静枝「富士縁起」、初世花柳寿美「八雲起出雲阿国」を上演        8月：新協劇団・新築地劇団に解散命令（千田是也・滝沢修ら100人余検挙）        9月：東宝移動文化隊結成        11月：築地小劇場、戦時統制のため「国民新劇場」と改称／松竹移動演劇隊結成        12月：内務省の勧告により演劇雑誌第1次統合</p>		<p>8月：八路軍、華北で第規模な遊撃戦を展開（中）        8月：トロツキー、メキシコで暗殺される（61歳）        9月：ドイツ、ロンドンを猛爆撃        ○ブルガーコフ「巨匠とマルガリータ」（発表されたのは1966年）</p>
1941 (昭16)	<p>4月：日ソ中立条約、モスクワで調印        5月：東京で、たばこ1人1箱売り厳守        6月：日本軍、南部仏印進駐        10月：近衛内閣総辞職し、東条内閣成立／乗用車のガソリン使用、全面禁止        12月：ハワイ真珠湾攻撃、太平洋戦争始まる        ○高村光太郎「智恵子抄」／防空頭巾・もんぺ・ゲートルの非常時服急増／「めんこい小馬」「大政翼賛会の歌」流行／この年、労働争議159件、小作争議3308件</p>	<p>2月：李香蘭、日劇に出演、群集殺到／崔承喜、欧米より帰国し、歌舞伎座で公演        3月：前進座、真山青果作「元禄忠臣蔵」全編の系統的上演開始（～43年11月）        6月：日本移動演劇連盟結成        7月：土方与志、帰国、即逮捕・投獄        9月：音楽雑誌第1次統合        12月：中村吉蔵没（65歳）</p>	<p>○ブレヒト「肝っ玉おっ母とその子供たち」「アルトゥロ・ウイの抑えることもできた隆盛」（独）        ○オニール「夜への長い旅路」（米）        ○リリアン・ヘルマン「ラインの監視」（米）        ○アヌイ「ユーリデス」（仏）</p>	<p>3月：ブルガリア、日独伊3国同盟に参加        5月：スターリン首相に就任（露）        6月：独ソ戦始まる        10月：ドイツ、モスクワ攻撃を開始        12月：ヒトラー、モスクワ攻撃放棄を指令</p>
1942 (昭17)	<p>1月：日本軍マニラを占領        2月：味噌・醤油切符制となる／大日本婦人会発足        5月：与謝野晶子没（65歳）        6月：ミッドウエー海戦で敗れる        11月：北原白秋没（58歳）        12月：ガダルカナル島撤退を決定        ○標語「欲しがりません勝までは」流行／「湯島の白梅」「新雪」流行／この年、労働争議173件</p>	<p>2月：宇野重吉・信欣ら三瑞穂劇団結成        3月：河合武雄没（66歳）        4月：文化座、創立第1回公演「武蔵野」を国民新劇場で上演        5月：文学座、岩下俊作・森本薫脚色「富島松五郎伝」（丸山定夫主演）を国民新劇場で初演        10月：演劇雑誌統合        12月：薄田・丸山ら苦楽座結成</p>	<p>○ワイルダー「危機一髪」（米）        ○モンテルラン「死せる女王」（仏）        ○シモーノフ「ロシアの人々」（露）        ○郭末若「屈原」（中）</p>	<p>1月：ナチ指導者、1100万人の欧州ユダヤ人の殺害を決定        8月：ドイツ軍、スターリングラード猛攻撃        11月：米英連合軍、北アフリカ上陸作戦を開始        11月：ソ連軍、スターリングラードで大反撃開始        ○カミュ「異邦人」（仏）</p>
1943 (昭18)	<p>1月：内務省・情報局、ジャズなど英米楽曲約1000種の演奏を禁止        2月：ガダルカナル島から撤退を開始        3月：兵役法を改正、朝鮮に徴兵制を施行        5月：米軍、アッツ島上陸、日本軍玉砕        11月：兵役法改正、45歳まで延長        12月：坂口安吾「日本文化私観」／第2回大東亜戦争美術展（都美術館）        ○「加藤隼戦闘隊」流行／この年、労働争議293件</p>	<p>1月：日本移動演劇連盟設立        3月：古川緑波一座、菊田一夫作「花咲く港」を帝劇で初演        6月：移動演劇東京特別公演「たらちねの海」「かえらじと」上演／井上演道場、山本有三の「米百俵」を東京劇場で初演        10月：滝沢修・青山杉作ら芸文座を結成し、武者小路実篤作「三笑」を帝劇で上演        11月：情報局の指示により第2次雑誌統合を行い、雑誌「日本演劇」創刊        12月：古典芸能の記録保存のため、歌舞伎座で「勸進帳」撮影</p>	<p>○サルトル「蝸」（実存主義演劇）        ○ジロドゥ「ソドムとゴムラ」（仏）        ○ブレヒト「ガリレイの生涯」「セチュアン人の善人」（独）        ○ウーゴ・ベッティ「大洪水」（伊）        ○ミュージカル「オクラホマ」（ロジャーズ曲）        ○ラインハルト没（70歳）        ○ダンチェンコ没（84歳）</p>	<p>5月：ドイツ軍、北アフリカ戦線で降伏        6月：英米軍、ドイツに昼夜の混合爆撃開始        9月：イタリア、無条件降伏        ○サルトル「存在と無」（仏）</p>
1944 (昭19)	<p>2月：米機動隊、トラック島空襲        6月：米軍、サイパン島に上陸／マリアナ海戦で日本軍大敗        7月：東条内閣総辞職        8月：学童疎開始まる        10月：レイテ沖海戦で日本軍、連合艦隊の主力を失</p>	<p>2月：俳優座結成（青山杉作・千田是也・東野英治郎・小沢栄太郎・東山千栄子ら）／決戦非常措置令で、歌舞伎座など19劇場を閉鎖        3月：松竹少女歌劇団解散、松竹芸能本部女子挺身隊を結成        5月：文学座、森本薫作「怒濤」を国民新劇場で初演</p>	<p>○アヌイ「アンチゴーン」（仏）        ○サルトル「出口なし」（仏）        ○カミュ「誤解」（仏）        ○T・ウィリアムズ「ガラスの動物園」（米）        ○アルベルティ「すばらしい女」（ス）</p>	<p>1月：ソ連軍、レニングラードを解放        6月：連合軍、ノルマンジーに上陸        8月：連合軍、パリに入城        10月：ソ連軍、ドイツ国境を突破</p>

	う 11月：B29による本土空襲始まる ○食料の欠乏で、のら犬が野生化、東京都毒まんじゅうの撒布を実施／「同期の桜」「ラパウル小唄」流行／この年、労働争議216件	7月：文化座、三好十郎作「おりき」を国民新劇場で初演 10月：国民新劇場で飯沢匡作「鳥獣合戦」を初演		
1945 (昭20)	3月：東京大空襲 8月：広島・長崎に原爆投下 8月15日：敗戦（ポツダム宣言受諾） 8月28日：マッカーサー、厚木に到着 9月：ミズリー艦上にて降伏文書に署名／軍需生産全面停止／米軍、東京に進駐／GHQ新聞・報道の検閲開始 10月：「赤旗」再刊 11月：財閥解体 12月：労働組合法公布／第1次農地改革始まる／日本芸家協会再建 ○メチルアルコールによる死亡者続出／食糧危機深刻化／「お山の杉の子」「勝利の日まで」流行／この年、労働争議95件	3月：空襲により、明治座・国民新劇場・浅草国際劇場・中座・角座・文楽座・御園座など焼失 4月：文学座、森本薫作「女の一生」を渋谷・東横映画劇場で初演 4月：花子没（77歳） 5月：空襲で、歌舞伎座・新橋演舞場など焼失 6月：（社）能楽協会設立 8月：移動演劇隊桜隊、広島で被爆、丸山定夫ら9名死亡 8月15日：この日より1週間、全国の映画・演劇興行停止を休業 9月：東京劇場、戦後初興行。市川猿之助一座、「黒塚」「弥次喜多東海道膝栗毛」を上演 10月：GHQ民間情報部、民主主義演劇の確立を示唆／土方与志釈放／松竹歌劇団、戦後第1回公演を浅草大勝館で行う 11月：GHQ、東京劇場で上演中の「菅原伝授手習鑑」の寺子屋の段を反民主主義的として中止命令 12月：東京芸術劇場結成（久保栄・滝沢修・薄田研二ら）／俳優座・文学座・東京芸術劇場などの新劇合同公演、チャーホフ作「桜の園」有楽座で上演	○ジロドウ「シャイヨの狂女」（仏） ○カミュ「カリギュラ」（仏） ○モーリヤック「愛されぬ人々」（仏） ○ポーボワール「無用の人々」（仏） ○ミュージカル「回転木馬」（ロジャーズ曲） ○ヴァイゼンボルン「非合法の人々」（独） ○オペラ「白毛女」（中）	2月：米英ソのヤルタ会談 4月：ルーズベルト没（63歳）／30日、ヒトラーベルリンの地下壕で自殺（56歳） 5月：ベルリン陥落 8月：ソ連、対日宣戦布告／インドネシア独立宣言（17） 9月：ベトナム民主共和国成立宣言（2日） 10月：国際連合成立（24日） 11月：ニュルンベルク国際軍事裁判開廷 12月：ユネスコ創設 ○オーウェル「動物農場」（英） ○カルネ監督「天井桟敷の人々」（仏）
1946 (昭21)	1月：天皇、人間宣言／GHQ、軍国主義者の公職追放 5月：極東軍事裁判始まる／食糧メーデー／第1次吉田内閣発足 10月：第2次農地改革 11月3日：日本国憲法公布 ○坂口安吾「墮落論」、野間宏「暗い絵」、本多秋五「小林秀雄論」、加藤道夫「なよたけ」、花田清輝「復興期の精神」／発疹チフス大流行（死者3351人）、天然痘の死者3029人、コレラ死者560人／「啼くな小鳩よ」「東京の花売り娘」流行／この年、ストライキ622件	1月：村山知義ら新協劇団再建 2月：大阪四ツ橋の文楽座再建／2世市川猿之助、船橋聖一作「滝口入道の恋」を東劇で上演 3月：東京芸術座、第1回公演「人形の家」を有楽座で上演／俳優座、第1回公演「検察官」を東劇で上演 ／戦後初の菊・吉合同歌舞伎を帝劇で上演 4月：都民劇場発足／新演劇人協会結成 6月：東宝企画制作の「真夏の夜の夢」（土方与志演出）を帝劇で上演 8月：東京バレエ団、「白鳥の湖」を帝劇で上演 9月：第1回「芸術祭」開催／新協劇団・東京芸術座合同公演「どん底」を帝劇で上演 10月：森本薫没（35歳）／演劇雑誌「テアトロ」復刊 11月：前進座、東京と提携し「レ・ミゼラブル」巡演／三越ホール（三越劇場）開場／東京自立劇団協議会結成 12月：川上貞奴没（74歳）	○プリーストリー「夜の来訪者」（英） ○R・ダンカン「墓場への道」（英） ○ラティガン「ウィンズロの少年」（英） ○サルトル「墓場なき死者」「恭しき娼婦」（仏） ○コクトー「双頭の鷲」（仏） ○オニール「氷人来る」（米） ○ツックマイヤー「悪魔の將軍」（独） ○エリック・ベントリー「思索する劇作家」（英） ○オデオン座、改称し「フランス座」（国立第2劇場）となる（仏） ○国立崔承喜舞踊研究所設立（朝）	1月：国連、第1回総会をロンドンで開催 7月：中国の全面的内戦始まる 10月：ニュルンベルク国際軍事裁判で12人に絞首刑

### 年表作成者：村井 健 Murai Ken（演劇評論家）

日本文芸家協会会員、社団法人「日露演劇会議」専務理事、紀伊國屋演劇賞審査委員、テアトロ新人戯曲賞選考委員。淑徳大学非常勤講師、新国立劇場演劇専門委員、新国立劇場演劇研修所・JOKO演劇学校講師、05年度文化庁文化交流使（派遣国ロシア）、NHK「シアター・コレクション」オフィシャル・アドバイザーなどを務める。

著書『シチュアション』（五柳書院）ほか。1946年秋田生まれ、明治大学文学部卒。